

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本医療ビジネス大学校
設置者名	学校法人 村上学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護師科 昼間部 (3年制)	夜・通信	657 時間	80×3=240 時間	
商業実務専門課程	国際情報ビジネス科 昼間部 (2年制)	夜・通信	240 時間	80×2=160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本医療ビジネス大学校
設置者名	学校法人 村上学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2025.4.1 ～ 2029.3.31	学校運営全般
非常勤	会社役員	2025.4.1 ～ 2029.3.31	学校運営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本医療ビジネス大学校
設置者名	学校法人 村上学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各科において、各授業科目について、各担当教員が作成した、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を各科内で確認・調整し、作成している。 各科の授業計画(シラバス)については、毎年、2月頃作成し、3月にホームページから公開している。	
授業計画書の公表方法	<a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) <b>【各科共通】</b> ・講義科目については、あらかじめシラバスで設定した成績評価方法に基づき、授業時間の2/3以上の出席を以って評価試験を行い、100点満点中90点以上を「S評価」、89点～80点を「A評価」、79点～70点を「B評価」、69点～60点を「C評価」、60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与えている。 ・臨地実習科目については、あらかじめシラバスで設定した成績評価方法に基づき、実習時間の3/4以上の出席を以って評価を行い、事前に学生に示した評価基準と照合し、複数の教員により総合評価を行う。100点満点中90点以上を「S評価」、89点～80点を「A評価」、79点～70点を「B評価」、69点～60点を「C評価」、60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与えている。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科において、客観的指標として、履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を設定し、公表している。また、各科において、各学生の履修科目ごとの点数及び全科目の平均点を一覧表化し、平均点により各学生の順位付けをしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>各科において、定められたすべての教育課程の単位および履修の認定者に対し、教員会議で協議し、学校長が議長を務める運営会議の決議を経て、卒業を認定する。また、学校長は、卒業の資格を得た者に対し、卒業証書を授与する。各科の到達目標は以下のとおり。</p> <p>&lt;看護師科&gt;</p> <p>1) 看護の対象である人間を総合的にとらえ理解する能力を養う。 (人間の理解と健康のダイナミクスな相互作用を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の尊さを理解できる。</li> <li>・人間をあらゆる健康、発達段階から捉えることができる。</li> <li>・多様な価値観をもち、自己実現を目指す存在であることがわかる。</li> <li>・人間は環境との相互作用により、変化していく存在であることがわかる。</li> </ul> <p>2) 専門職業人としての意識をもち、主体的に学習し自己向上の姿勢を養う。 (看護の探究心も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼を基本とした人間関係を築くことができる。</li> <li>・理論的、科学的思考に基づいた問題解決能力が身についている。</li> <li>・看護に対する探究心をもっている。</li> <li>・継続して主体的に学ぶ姿勢が身についている。</li> <li>・豊かな人間性を備え、看護の対象に共感する態度が身についている。</li> </ul> <p>3) 人々の健康上の問題を解決するための基本的な知識をもち、それを実行できる能力を養う。 (行動能力と実践の基礎能力を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的根拠に裏付けられた基礎的技術を身につけ実践できる。</li> <li>・専門職業人としての倫理に基づいて行動することができる。</li> </ul>	

4) 対象をとりまく社会のニーズを踏まえ、保健・医療・福祉の動向に即した看護が実践できる。

(看護の探究心、調整能力を含む)

- ・社会の動向に関心を持ち、保健・医療・福祉チームの中で看護の役割が理解できる。
- ・他職種と協力しながらあらゆる場面において社会資源を活用した調整を行うことができる。

<国際情報ビジネス科>

PC・簿記・マーケティング・経営学・英語等、実社会にて不可欠なビジネススキルを中心に、国際化・情報化が進むアジアを中心とした国際社会において、有意な専門人材を涵養することを目的とする。

1) 基礎科目

- ・人文科学・社会科学・自然科学系の科目学び、社会人としての持つべき広い視野の基礎を形成し、氾濫する情報に惑わされない基礎知識を構築できる。

2) 実務理論

- ・経営系・法律系の基礎を学び、ビジネスの基礎を形成し、比較文化、法律、マーケティング、経営学を通じ、ビジネス実務の本質を理解する。

3) 資格基礎

- ・商業簿記、貿易実務等、実務で通用する資格取得を目指す。

4) 実習

- ・文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成のアプリケーションソフトを運用できる。WEBデザインの基礎を学び、簡易なHPを作成できる。

5) コミュニケーション

- ・ビジネス英語、ビジネス文書、ビジネスコミュニケーションをケーススタディを用いて体感的に習得する。
- ・ビジネスで不可欠なプレゼンテーションスキルを反復習得する。

6) 国家試験対策セミナー

7) 検定試験対策セミナー

- ・通関士、通訳ガイド、シスアド、簿記検定を選択受講し、就職に直結するスキルを身につける。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本医療ビジネス大学校
設置者名	学校法人 村上学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
財産目録	<a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
事業報告書	<a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護師科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,045 単位時間/単位	2,010 単位時間/単位	単位時間/単位	1,035 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		30人	0人	5人	31人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照。
学修支援等
（概要） 国家試験対策として、模擬試験を随時実施し、学生ごとの得意・不得意分野を分析し、面談等で対策方法等を指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 令和5年度開設学科のため、令和6年度の卒業生無し。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	3人	23%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時、担当教員が個別に面談し、複数の教員等が本人の意思を確認している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	国際情報ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	1,170 単位時間		540 単位時間		
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	263人	263人	5人	6人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照。
学修支援等
（概要） 学生ごとの得意・不得意分野を分析し、面談等で対策方法等を指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和4年度・令和5年度は「募集なし」のため、令和6年度の卒業生無し。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121 人	1 人	0.8%
(中途退学の主な理由) 出席不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 毎日の欠席者への電話連絡、個別面談、家庭訪問		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護師科	250,000 円	920,000 円	230,000 円	実習費・施設設備拡充費
国際情報 ビジネス科	50,000 円	540,000 円	110,000 円	実習費・校友会費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>① 主な評価項目 1)教育理念・目標 2)学生の受け入れ 3)学生生活への支援 4)教育課程 5)教育活動・教育指導のあり方 6)実習指導体制 7)研究・研修活動 8)組織・管理運営 9)施設整備 10)社会への貢献 11)予算 12)学校評価</p> <p>② 評価委員の構成 本校教職員以外の者で、次に掲げる者のうちから学校長が委嘱し組織する。 1)学生・卒業生 2)保護者 3)関係業界 (実習施設等) 4)専修学校団体 5)自治体 6)教育関係者 7)その他学校長が必要と認める者</p> <p>③ 評価結果の活用方法 前年度の学校評価の結果を委員長が6月を目標に設置者等に報告することにより、教職員や保護者、地域住民等が学校の現状や取り組みを知り課題意識を共有し、学校運営の改善を図る。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
SYK 心理オフィス	2018. 10. 1-2026. 3. 31	教育関係者
さいたま岩槻病院	2018. 10. 1-2026. 3. 31	医療従事者
東京医療保健大学	2018. 10. 1-2026. 3. 31	教育関係者
大里名倉堂接骨院	2018. 10. 1-2026. 3. 31	医療従事者
東部医学技術専門学校	2018. 10. 1-2026. 3. 31	教育関係者
所属なし	2018. 10. 1-2026. 3. 31	教育関係者

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/">https://nihon-mb.m-gakuen.ac.jp/</a>
--